

幼稚園からの施設一体型一貫教育における効果的な  
教頭の関わり方

～各校の実践の共有を通して～

東臼杵郡教頭会 美郷北義務教育学校 平野公一

## 1 主題設定の理由

宮崎県北部に位置する美郷町においては、「美郷ならではの「一貫教育」を行い「連続する11年間の学び」のなかで「めざす15歳の姿」とし「他者とのかわりの中で お互いを認め合う力を育むとともに夢の実現を目指して行動できる15歳」をかかげ、美郷町の教育目標である「ふるさとを愛する心と豊かな国際感覚を育み、確かな学力を身に付け自分に自信と誇りが持てる、心豊かな人材の育成」の実現に向け取り組んでいる。

美郷町内には、「西郷義務教育学校」「美郷北義務教育学校」「美郷南学園(幼小中一貫教育)」の3つの公立学校があり、幼稚園から連続する11年間の学びを行っている。そこで、美郷町内各校の実践や成果、課題を共有することで効果的な教頭の関わり方について研究することが重要と考え本主題を設定した。

## 2 研究のねらい

「学年段階の区切り(ブロック)」「前期課程における教科担任制」「学級担任の分担」「幼稚園と前期課程のつながり」「部活動の指導体制」「校務分掌における業務の効率化」などの各校の取組や課題を共有することにより各校がより円滑に行うための効果的な教頭の関わり方について研究を行う。

## 3 研究の経過

### (1) 1年次(本年度)

- ・研究主題及び研究推進計画立案
- ・各校の状況把握
- ・宮崎県HP上に掲載

### (2) 2年次

- ・各校へのアンケート調査
- ・九州大会発表

### (3) 3年次

- ・各校の取組状況及び改善状況の情報共有

## 4 研究の概要

各校における現状把握

### (1) 学年段階の区切り(ブロック)について

前期ブロックを幼稚園(年中)～4年としている点は、共通しており、西郷義務教育学校と美郷南学園は、後期ブロックを5年～9年としている。美郷北義務教育学校は、中期ブロック5年～

7年、後期ブロック8年・9年としている。

制服については、美郷北義務教育学校と美郷南学園が7年より標準服を着用し、西郷義務教育学校は、後期ブロック(5年生)より標準服を着用している。

### (2) 前期課程における教科担任制について

#### ① 美郷北義務教育学校

3年より教科担任制を導入していることで3・4年生の複式学級によるデメリットを解消している。

体育・音楽は後期職員が1年～9年の授業を担当しているが、小学校5・6年の体育は小学校教諭が体育の指導を行っている。

小学校の外国語及び英会話は後期職員が授業を行っている。

#### ② 西郷義務教育学校

体育・音楽は後期課程の職員が1年～9年の授業を担当している。前年度は5年生以上が完全教科担任制であったが、職員構成により、今年度の4年～6年が一部教科担任制である。

#### ③ 美郷南学園

3年～9年の音楽は、小学校籍の教諭が授業を行っており、3年～6年の理科は、小学校籍の理科専科が行っている。小学校の外国語及び英会話は中学校籍の教諭が授業を行っている。3・4年生の複式解消のため、3年の算数を中学校籍の教諭が授業を行ったり授業を分担している。また、5・6年の体育を6年担任が行い、図工を5年の担任が行ったりしている。

### (3) 学級担任について(ステージ担任やダブル学級担任)

#### ① 美郷北義務教育学校

前期課程の1年～6年のうち、3・4年は複式学級としている。担任は、各クラス1名である。本来は5・6年も複式学級であるが、後期の職員(免許状は中学校のみ所有)を学級担任として配置し、複式学級を解消している。

後期課程の7年～9年生は、2人担任制となっている。また、各ブロックごとにブロック長がいる。

#### ② 西郷義務教育学校

前期ブロック(1年～4年)は学級担任一

人体制であるが、後期ブロック(5年～9年)は学年担当二人体制で学担・副担の別はない。しかし、特別支援学級担任が学年担当職員をかけ持つ。また、前期・後期ブロックに主任を配置している。

③ 美郷南学園

小学部は、1人学級担任(3・4年複式)で中学部は、担任・副担任である。

(4) 幼稚園と前期・後期課程のつながりについて

① 美郷北義務教育学校

梅ちぎりや野外散策など、幼稚園と1年生合同で行事や授業を定期的に行っており、学校行事には、幼稚園も一緒に参加する。

② 西郷義務教育学校

1年国語の読み聞かせを幼稚園児と共にしており、前期ブロックの児童会活動に幼稚園児が参加している。学校行事には幼稚園児も参加している。

③ 美郷南学園

生活科や国語の授業において、幼稚園～2年生でイモの栽培、ウナギの放流、読み聞かせの活動を行い交流している。遠足や集会も幼稚園～4年でファミリー班(1～9年の縦割りの活動班)で活動している。

(5) 部活動の担当について

① 美郷北義務教育学校

後期課程の職員が部活動顧問となり部活動をおこなっている。5・6年生は木曜日に部活動に体験参加できるため、前期課程の職員が各部活動の担当として1名つくことになっている。

② 西郷義務教育学校

前期課程職員を含めて、全職員が部活動に関わる。活動にあたっては以下を目安に分担している。

顧問…平日・休日の活動を含め、指導及び引率等を行う。

副顧問…休日の活動を中心に、生徒の指導及び引率等を行う。

協力者…平日の顧問不在時に協力する。

③ 美郷南学園

部活動は、中学部の部活動顧問・副顧問が指導している。運動会後に週2回5・6年生がスポーツ体験活動を行って、いろいろなスポーツを行っている。6年生は、3学期、入部したいスポーツに限り活動している。

(6) 校務分掌等の業務の効率化について

① 3校での共通点

教頭・教務主任・生徒指導主事・養護教諭など前期課程と後期課程にそれぞれおり、業務を分担して行うことができる。これにより業務の負担軽減が図れている。

② 西郷義務教育学校

昨年度までは「学校づくり」の観点から校務部に「チーム」があり、3～4名で協議を進めていたが、取組が軌道にのり、今年度から「チーム」を廃し、校内組織のスリム化が図れた。

5 研究の成果と今後の課題

美郷町としての取組の中で、各校の特色を生かした教育活動が行われていることがわかった。今回の各校の取組の様子を共有することで、メリット・デメリットも見えてきたところである。

今後、美郷町及び町内3校の取組を改善するために、各校のよさを取り入れた校内の組織・運営での改善すべき点の具申を学校長にしていく必要がある。